門の若菜たち

八王子市立横山中学校　学校便り　令和8年度　11月号　令和8年11月16日

横山中学校 HP

何気ない会話が大切

校 長 長 田　克

近年ＩＣＴの発達には目を見張るものがあります。ＩＣＴ（情報通信技術）とは、パソコン、スマートフォンなど、様々な形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称です。これらＩＣＴは教育や医療・介護、地方経済の活性化などの普及・発展に必要不可欠なものであることは疑いのないところです。しかし今、小・中学生は、自分用のスマートフォンやタブレットをまるで必要不可欠な生活道具として家族から与えられているという現実があります。この状況について全面的に否定はしませんが、リスクがあることを理解しなければなりません。特に子供のうちからコミュニケーションをＳＮＳに頼っているという点は大変心配です。確かにＳＮＳは忙しい現代人にとっては便利なツールですが、子供たちにはＳＮＳでコミュニケーションを図る前に、家庭や学校で人間として身につけてほしいコミュニケーション能力があります。それは、幼少期から身につけるべき『挨拶』や『返事』であり、家族や友達との『会話』であり、更には学校等での『話し合い』です。特に中学・高校時代には様々な相手に対して、自分の考えを相手に伝え主張する力『主張力』と、人の考えを相手の立場になって傾聴する力『傾聴力』を身につけさせたいものです。

今、人間同士のコミュニケーション能力を身につける前にＳＮＳのぎこちない会話に振りまわされている子供たちが大勢いる現状があります。２０年後、今の子供たちが社会で活躍する時代、ＡＩやＩＣＴが益々発達しています。そのような時代こそＡＩにはできない『相手の表情からその心情を読み取り、人と人を繋ぐ会話や議論ができる高度なコミュニケーション能力』が求められます。

学校には、性格や考え方、得手不得手がそれぞれ違う様々な子供たちが集まっていますが、顔と顔を合わせながら『挨拶』『何気ない会話』そして『話し合い』を続けることで、やがてお互いにわかり合い、つながりができてくるものではないでしょうか。生徒の皆さんも保護者の皆様もスマートフォンの画面を優先させず、自分の目の前にいる人と『何気ない会話』を大切にする生活を心掛けてはいかがでしょうか。

合唱祭を振り返って



素晴らしい合唱を聴かせてもらいありがとうございました。また、実行委員の皆さん、伴奏者、指揮者の皆さんお疲れさまでした。

さて、一つの歌を完成させるまでには、色々なことがクラス内であったはずです。私も、クラスを受けもっていた時に、実行委員の生徒から度々嘆きを聞きました。曰く、「練習の集中してくれない。」、「実行委員の気持ちをわかってくれない。」など、など。実行委員たちの悩んでいる姿を今でも覚えています。多分、このような嘆きは今年も学校のあちこちで発せられたことだろうと、想像します。

私も、偉そうなことは言えませんが、一つだけ心に留めておいた方が良いと思うことがあるので、そのことをお伝えしたいと思います。

それは、「一人、一人、大切にしているものが違う。」という、ごく当たり前の事実です。合唱の練習を例にとれば、ある人はクラスの皆で一緒に練習することをとても大事なことだと考えている。けれども、ある人は自分の習い事を何よりも大切にしているかもしれない。また、ある人は自分の将来の夢の実現のために勉強時間を確保することを最優先に考えているかもしれません。



そういう人たちが、自分の時間を割き、集まって、何かを、合唱を作り上げていくというのは本当に大変なことだと思うのです。ただ、その大変なことをしていく時に、「お互いに大切にしているものは違う。」ということをいつも心のどこかに置いておけたらと思うのです。そして、大切にしているものがそれぞれに違う人たちが共に集い、協力して、一つのもの、合唱を作り上げるということに、何かとても大きな意味があるように思います。



皆さんの歌には実に様々なドラマが隠し味となっているのだろうなということを思いながら、合唱を楽しんで聴かせてもらいました。ありがとうございます。